

2021年4月6日

各位

大阪信用金庫
理事長 高井 嘉津義

定例調査：第187回 中小企業景気動向調査（1～3月期）

- ☆盛り返す 製造業 一条の光・・・・・・・・・・売上DI+21.1ポイント
- ☆設備投資回復・・・・・・・・・・「予定あり」2.0ポイント上昇
- ☆さらに追い打ち・・・・・・・・・・「仕入単価上昇」43.9%
- ☆賃上げ増加 定期昇給額増加・・・・・・・・・・賃上げ予定38.7%

●盛り返す 製造業 一条の光・・・・・・・・・・売上DI+21.1ポイント

総合では、売上DIが-47.1（前回比+6.5ポイント）、収益DIが-46.3（前回比+4.8ポイント）と3期連続の上昇となりました。売上DIは、運輸業が22.9ポイント、製造業が21.1ポイント、建設業が11.2ポイント上昇しました。一方、飲食業は24.3ポイント、小売業は23.9ポイント下落し、緊急事態宣言による影響が出ています。2021年4-6月期は、売上DIが17.8ポイント、収益DIが13.1ポイントとともに上昇すると予想しています。新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していますが、待望のワクチン接種も始まり、全業種で売上DI、収益DIが上向いています。

●設備投資回復・・・・・・・・・・「予定あり」2.0ポイント上昇

設備投資は、総合では「実施中」11.8%（前回比+1.0ポイント）、「予定あり」11.7%（前回比+2.0ポイント）で合計23.5%となり、設備投資は回復しました。特に「予定あり」は、2.0ポイント上昇し、過去1年で最大となりました。

「実施中」+「予定あり」は、製造業が27.0%、サービス業が26.8%に上昇しました。

設備投資の内容は、「機械等の新設・増設」が32.3%（前回30.7%）、資金調達方法は、「借入」が49.9%（前回42.4%）に上昇しています。

売上の回復と先行きへの期待が、設備投資意欲の上昇に繋がったと思われます。

●さらに追い打ち・・・・・・・・・・「仕入単価上昇」43.9%

経営上の問題点は、総合では「売上停滞減少」が70.8%（前回比△2.3ポイント）となり前回調査から減少しましたが、一方で「仕入単価上昇」が43.9%（前回比+12.0）に上昇しています。特に飲食業が野菜価格の値上がりから70.8%に上昇し、今後、収益への影響が懸念されます。

●賃上げ増加 定期昇給額増加・・・・・・・・・・賃上げ予定38.7%

賃上げについて、「実施予定」が38.7%（前回比+16.1ポイント）となりました。新型コロナウイルスによる影響は長期に及んでいます。新型コロナウイルスのリスクを恐れる従業員を引き止めるため、苦しい中やむを得ず賃上げに踏み切る企業が多くなっています。賃上げは、ベースアップよりも定期昇給額を増やして対応する傾向が見られます。

調査時点：2021年2月下旬～3月上旬

対象期間：2021年1～3月期（実績） 2021年4～6月期（見通し）

対象企業：当金庫お取引先1,730社（大阪府内、尼崎市）

回答企業数：735社（回答率42.4%）（新型コロナウイルス感染症対策のため郵送で回収）

本調査に関するお問い合わせは下記までお願いします

株式会社だいしん総合研究所（担当：平山）

TEL: (06) 6775-6590 FAX: (06) 6772-1630

E-mail: souken@osaka-shinkin.co.jp URL: https://www.osaka-shinkin.co.jp

この街のホームドクター



大阪信用金庫